第八百三十七號 （日曜日） 明治四十四年十二月十日 （第三種郵便物認可）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行所 京城新報社
仁川支局
東京支局

猩紅熱の豫防法（下）

總督府醫院山口醫學士談

兎に角疑はしき病人があれば速に醫師の診察を乞ひ成る可く隔離消毒を行ふ事が緊要である又他の家に患者發生したる場合には其患者に接近せざるのみならず其患者の家族の者とも成る可く往復せざる樣に注意す可きである病毒を保持しながらも發病せずに居る者もあるのであるから患者の家族は先づ傳染の危險なる者として之に接近せざるに如くはなしである學校寄宿舍などに於て生徒間に傳染する事はよくある事で殊に小學校にありては此危險が一層大である生徒中に患者あれば之れから直接他の生徒に傳染するのは勿論であるが又生徒の家族に患者ある場合にも其生徒により間接に他の生徒に傳染する事がある此の如き關係からして流行時には小學校の一時閉鎖は必要なる事なるべし潜伏期に於て已に傳染性がある事は豫防上に甚困難を來す事である殊に小兒の感冒を注意し若し小兒が今迄の如く活潑に遊ばず食慾が減少するか頭痛嘔吐發熱及咽痛の訴ある場合には速に醫師の診斷を乞ふ可し感冒に罹らざる樣注意する事も豫防の一である又皮膚の損傷を注意する事も必要であると云々

朝鮮東海岸魚族調査（二）

帝國大學農科大學助手 脇谷洋次郎君談

要するに朝鮮の東海岸は寒海性の生物多きと共に暖海産をも雜へ一般に有用水産物の種類に富むを以て各種の漁業を營むに有望なりとす勿論北韓沿海の魚貝に就ては已に鮮人が從來漁業を爲し來り居りて世人の想像するが如く豐富ならざるものもあれども未だ世人の注意せざりし有用水産動物又は鮮人が是迄漁獲せざりしものにして非常に有望なるもの多く然るに是等の地方には唯だコハダ、鯛、サワラ等を漁獲すべく多少九州附近の漁夫の通漁するものあれども未だ同地方の特産の水族の漁業に從事する目的を以て同地方に定住する漁夫とては至て僅少にて目下の處西湖津、雄基灣等の如き漁業上有望なる地點にても內地漁業者の居住するは只だ一名死に過ぎず故に將來北陸地方の漁夫の如く北韓漁業に適する漁民が北韓地方に移住し以て收約的に漁業を營むに至らば北韓地方の漁業は大に發展するに至るべし北韓地方にて世人に知られたる漁業としては明太、サワラ、サバ、タイ、タラ、ブリ、サケ、ニシン、カレー、ナマコ、カキ、カニ等なれども是等の漁業中にも漁具の改良漁獲物の製造法に注意改良すべき點少なからず、是等の外未だ世人の知らざるものにてフカ、サンマ、スルメイカ等の漁業の有利なるもの少なからず

尚世人の知れる水産生物にして面白き分布狀態としては朝鮮東海岸に於て元山附近が自ら分布の境界となり居ることにて例へばハモ、アナゴ、ウナギ、黒鯛、眞鮹、飯鮹、サザエ、ワカメ、蛤の如きは江原道中部より其産出を減じ元山附近に至れば全く産出せず之に反して北方には『コマイ』と稱して北海道の北部に産する鱈の種類を始めとしてハタハタ、キウリ魚（氷魚の一種）及大鮹ホッキ貝、昆布等は元山以南に至るに從て漸次減絶せることとなり以上は大體論として興味あるものに屬す更に上記分布中有望なる二三に就きては次回に於て之を説述すべし

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事



一、締切期限來る十二月二十日

一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

外事一束

▲北米●ジャージーシチーに二回の大火災あり運送會社の馬三百五十四頭燒▲絶息●し又下級民數十名住家を喪ふ蓋し消火裝置不完全に火夫活動を缺くに由る

▲米國●議會開會す法律制定上不滿足多かる可も政治的注目を値すと豫期

▲明年●の大統領候補豫選は共和黨は六月民主黨は七月共に市俄古に行ふと

▲暹帝●戴冠式第五日目軍旗親授式を行ひ各國元首代皇族各大臣等列席すと

▲大藏●卿ウ氏自國財政現狀に就き樂觀して曰く千九百九年財政改革の結果▲獨逸●財政の大改善を見るべきは蓋し豫期よりも頗る早かるべきを思ふと

▲墺帝●外相が參謀長陸相に抗議的意味の辭表提出に對し不及其儀と却下す

▲獨墺●伊三國政府其の三國同盟繼續に關し目下互ひに意見を交換しつゝ在

▲勃牙●利人各所に爆烈彈を投じマセドニアの人心昂奮し土國內不穩を極む

文苑

●亂調　在春川　蘆廼舍

君と別れ長途假寢の旅枕夢に驚ろく胸の戰き

戀にやさし君が髮を見てしよりそゝろ我が身の宇たてきうらむ

歌に見るよき人野路に得てしより唯何となく微笑まる哉

君にやる文かゝばやと筆とれば胸戰きて手しうる我

弱冠の罪親のひかりにふれし身の今更そよと秋風寒き

若かりき灩盡七度とめぐりて戀の小女をよそに見しとき

○捕鯨船ニコライ丸にて

鯨屠り血煙浴びて微笑みてそとふいて見つ銛の鋭利よ

銀河千里白波高き東海に海士の燈火且つ見ゆる哉

梁川庄八

第五十二回　小金井蘆洲演



折柄立花屋吉兵衛並にお波の實父上總屋與平が打揃つて上州屋へ梁川先生を訪ねて來た『藤』『エー旦那樣……立花屋吉兵衛が今日倅の嫁が危急をお救ひ下さいました御禮を申述べに嫁の實父が同道で參りまして、御目に懸りたい由申して居りますが如何取計ひませう』『庄』『ア、然うか諸々行て會ませう』と二階から降りて行て面會をする 庄『オー拙者が梁川庄八と申者ぢやが』『吉』『是は〳〵初めましてお目通り仕ります私事は本町三丁目呉服渡世立花屋吉兵衛と申します、罷り出ましたは今日手前家內が倅の嫁を連れて白濱辨天樣參詣に參りましたる所、御城中のお若い御武家樣のために災難を受けましたる所をお救ひ下さいまして、誠に有難う存じまして、是は嫁の實父上總屋與平と申す者、同道で御禮のため罷り出ました次第で、是品はほんの心ばかりつまらん品ではございますが、何うぞ御禮の印までお收めを願ふう存じまして』と土産物を差出すのを『庄』『イヤ其丁寧なる挨拶で却て恐縮致す、拙者素より左樣な禮物を受る所存で救つた譯ではないから、達てお斷りを致す、亦彼の若侍も酒機嫌から致した事だによつて余り罪く思はんように』『吉』『恐入ます、何うぞ此品は』と云ふのを何と云つても受けぬ、據なく厚く禮丈述べて立戻りました、其處で梁川庄八の評判はます〳〵高くなり、上州屋は好いお客樣をお泊め申したと、城下の大評判と相成ました、すると夫から四五日經つて、里見安房守の老臣流山將監より上州屋藤兵衛へ差紙が來た、藤兵衛開いて見ると、梁川庄八に少々談示申たき事有之により上州屋藤兵衛同道にて明日五ツ時に當將監邸まで出頭に與りたい、と云ふ差紙だ、偖は先日の仕返しに違ひないと藤兵衛顔の色を變へて二階へ駈上つて參り『藤』『旦那樣大變で、御城內から御差紙が參りました、是れは多分御城內の若侍の腰の物を取上げた一件に就て、御家老樣が何か故障を申し入れる次第でございませう、手前共の懇意の漁師がありますから、其船に乗つて向地の相州三浦へ御逃げなさいましては……』『庄』『イヤ其親切は有難いが、拙者は何も逃げる程の身に落度はない、一時亂暴者の腰の物を取上て理解を致し遣した迄の事、何も家老に故障を云れる節はないから、外に尋ねる事でもあるのだらう、何の事だか判りもせぬ內に逃ると云ふは卑怯千萬、此庄八は却つて左樣な振舞は致さぬ、何しろ貴樣と同道と云事だから、支度をして同道致せ、若し理不盡な事を申し掛るに於ては乃公も武士、此大小の手前に對しても一歩も退かぬ場合が生ずるか知らん、苟も武士たる者は瓦となつて全からんより玉となつて碎けよと云ふ金言もあるし、家老だからとて次第に依ては容赦は致さん、何しろ同道致せ『藤』『承はつて大きに安心致しました左樣なれば御案內致しませう』と翌朝先から指定した刻限に連立て、城中の流山將監方へ罷越しました、差紙を出して取次を申入ますと、暫て待構へて居りましたのですから 取次『能こそ御入來先刻より御待受申して居りました、イザ此方へ……』と丁寧に玄關から案內をして奥の一室へ通し 取次『イヤ藤兵衛其方は此所に休息して控へてをれ、梁川氏には何うぞ此方へ御通りを願ます』最と丁寧に庄八を物靜かなる書院へ通される 取『暫時御休息を』待つ間程なく立出る、流山將監、岩瀨監物、里見主計、正木大膳、里見家名代の四家老の人々がズーと列座『先づ是へ』と庄八を設けの座に迎へて、銘々姓名を告げて知己となる、流山將監席を進めて 流『先頃其許白濱辨財天の境內に於て心得違を致せし、當藩の若侍に御理解下されました事が御座らうな』庄『如何にも』流『實は其者等貴公の御意見心魂に徹し先非後悔仕り、有りし次第を我等方迄訴へ出で目下謹慎致して上の御沙汰を相待て居る次第で、併し我々共の一存にて彼等三人の處分を取計ひ兼ましたるにより、其趣を具に主君安房守に言上致せし處、主君に於せられては其許の心底に感服致し、當家へ召抱へたけれど適れ智勇兼備の武士なれば定めて祿に望みもあらん、我家の格式に則り相當の祿を以て召抱へようとの殿の御沙汰でござる、就ては其許に仕官の御望みがござるならば、當家の格式に任せて其許を御召抱申さん此儀早速御承諾下さるや否やをお尋ね申さんがため、今日御招き申た次第でござる』と懇切なる言葉『庄』『短才の不肖を左程迄に思召し下さる段有難仕合せに存じまする、速に御請け致すべき筈なれど、私は本國仙臺に於て仔細あつて老臣瀧庭周防なる者を討取り、親の仇を復しましたる爲に、一度入牢の身と相成りましたるを、遂に破牢致し國表を脫走した者でございます、其節町奉行窪川又右エ門と云ふ者の邸へ參り若し拙者を捕へんとならば假令如何なる土地に赴くとも、逗留の旅宿の前に名札を出し置くに依り、其處で捕手を差向けられよと申置て本國を出立致しました』と經歷を語らんとした。

東京電報

▲殉難者に恩賜 軍艦春雨乘組司令大瀧海軍中佐以下五十一名の死亡者に對し畏き邊にては七日特に吊慰金四百二十四圓御下賜の恩命を下されたり

▲媾和委員任命 北京政府は革軍と媾和のため唐紹怡を全權大使とし楊士琦、元周の二氏參與大臣となり其他各省より三十三名の參事委員を任命せり

▲臨時取調局官制公布 九日勅令にて臨時取調局官制公布さる其の要點は諸制度財政整理及び調査をなすにあり其結果總裁西園寺侯以下委員幹事等夫々任命さる

▲革軍政府組織公報 上海有吉總領事發電公報によれば蘇州程都督杭州湯都督鄂州陳都督外七省の代表者は上海教育總會に大會を開き假政府組織を議決し黃興を大元帥に黎元洪を副大元帥に公擧し蘇州程都督を江蘇都督とし假政府は暫時南京に設置するに決し黃興は大元帥たる事を固辭したるも黃興歡迎大會に於て黃は遂に暫時大元帥たる事を諾し不日南京に赴く由又孫逸仙は十二月二十七日香港着の確報ありたり

▲排日熱を煽動す 陸軍省着電によれば廣東附近にて日本に對する惡評流言する者あり曰く漢陽に於ける革軍の失敗は日本將校官軍のために盡せる爲なりとか或は日本の陸兵百余名汕頭に上陸せりとか盛んに排日熱を高めんとする兆候ありこれ等は某外國人の捏造と煽動によるものなりと

▲政友會代議士總會 政友會にては二十一日代議士總會を開き役員議長候補者等の撰定をなす筈なるが大岡氏議長たるべし

▲暹羅戴冠式終了 暹羅皇帝陛下の戴冠式八日無事結了

北京特電

▲張勳北方に向ふ 南京より逃れし張勳は退却の際麾下以上の兵を纏めて津浦鐵道によりて北方に向ふ其率ゆる兵數は三千餘なりと云ふ

▲列國關內鐵道保護 北京 天津間唯一の連絡交通線たる關內鐵道が動亂の進行と共に官革兩軍の何れにか破壞せらるゝことありとせむか團匪事件當時と同じく北京天津は全く孤立に陷るの虞あるを以て北京の外交團は會議を開きし結果關內線保護の必要ある場合は日英米獨佛五ヶ國分擔守備の任に當る事に決定したり露國及和蘭は兵力の餘裕なきにより同守備に參加せず

上海電報

▲過激なる排獨熱 長沙に於いて激烈なる排獨熱起りて獨逸商人の倉庫を燒拂はむとする者ありしも軍隊の爲に阻止せられたり

▲官軍司令官の豪語 漢陽攻擊戰にて成功せし官軍の司令官馮國璋は更らに北京より五個聯隊の兵及び銳利なる野砲多數の增援を得たれば一擧にして武昌をを屠らむと豪語しをれり

▲官革兩軍對陣 官軍側にては砲列を花園街の鐵道附近に進め漢水架橋を利用し盛んに漢陽の兵備を堅め一擧武昌を衝かんとする勢を示し武昌に於ては江西の援軍八千到着し黎元洪は自から之を城外に出迎へ軍容大に振へり

雜報

●日銀對鮮銀 既報日本銀行に對する鮮銀の正貨準備に要する借入金の交涉は寺內總督の斡旋に因り其歩を進め山本藏相に於ても事情止むを得ずとして或程度まで承諾を與へたる由なれば其實行を見るも遠きに非ざるべしとの事なり

●鮮人製鹽現況 官營の天日製鹽及び輸入鹽の再製せらるゝもの以外に從來鮮人の製造しつゝある煎鹽の製產額亦少なからず元來統計の確實なるものなきため其數量等は勿論製鹽狀態等の調査にも極めて困難を感じをりしが專賣局にては財政顧問部前代よりの調査事業を繼續し昨今漸く調査の終了を告げしが其結果は左記の如くにして總計每年約二億斤以上の製造をなしをれりといふ

道名	製造者數	鹽生產力	釜屋數
京畿道	一、七一五	五三、五七四、二九四	八一九
忠淸南道	四五五	三一、一九六、三〇六	四七四
全羅北道	一五一	一〇、三〇五、二八九	一五一
全羅南道	二、九四五	一〇四、一〇四、三四〇	一、〇六五
慶尙北道	三三三	七、〇四一、六九九	九〇
慶尙南道	九四五	二六、一二四、八一二	四五五
江原道	三八七	七、七八五、三三七	一七八
黃海道	二一八	八、〇四一、四六〇	一〇三
平安南道	一五八	一〇、三六五、二九九	二五八
平安北道	六七	九八四、八五三	六七
咸鏡北道	三五九	一、四〇九、二八二	二四六
咸鏡南道	三八三	二一、一三九、〇三一	三五五

合計製造者數八千百五人生產力貳億八千二百七萬千七百七十一斤釜屋數四千二百六十個なり

●半島鑛業界の弊風 近來朝鮮に於ける鑛山事業の有望なるを認め內地の大資本家が投資を試みむとするものあるは半島產業開發上實に慶すべき事なるが茲に此等企業家の注意を喚起すべきものあり幷は朝鮮鑛業界に於ける舊來の弊風として目せられつゝある彼の德大法と云へるものに染まざる事にして從來比較的有望なる鑛脈採掘に從事するものにして尙且つ失敗を招くものあるは一として此德大法を本として經營なしたるに因る彼湖州金鑛が有望豐富なる鑛脈を有するに不拘採掘後暫くにして失望の聲を洩らせしが如きは實に此德大法に原因するものなり蓋し德大法と稱するは鑛山主が其採掘に從事せんと志すも採掘資本に缺乏を來す等の結果之れが採掘を德大なる一種の受負業者に委托し受依托者則ち德大は其鑛脈の上下により豫め其採掘高の六分一乃至八分の一の採掘料を鑛山主に支拂ふことを約し殘餘の採堀高に對する三分の二を自己の所得とし三分の一を坑夫等の賃銀として支拂ふものなれば德大等は唯一に自己に勞少なくして所得多き鑛脈の一部をのみ發掘し其間鑛脈の荒廢等は毫も意に介することなく勢ひ其命脈を短からしめ且つ多少の勢力だに費せば敢て採掘を不可能とせざる部分の採掘の如きは殆んど之れを試みず優良なる部分の採掘をだに終れば直ちに鑛物の望み絕へたることを告げ斯くて鑛山主を失敗に終らしむることは從來蔽ふべからざる一大弊風なるが其採掘を行ふ上に於て極めて簡易なるものある故多少資本に豐かなる內地人と雖も亦德大に信賴して失敗を招くもの尠しとせず、而かも德大法は純然たる賃借關係なるを以て法律を以て之を禁ずる能はざるも何等かの方法を講じ此弊風を排除すること朝鮮鑛業界の一大急務なりと鑛業實務者は語れり

●木材の用途種類 京城市內に於ける一ヶ年間の木材需用額は百二十萬圓にして其の內八分は鴨綠江營林廠韓材二分は內地移入材といふが如き割合にて他に鐵道枕木用材二十萬圓の需用あれど此等は多く朝鮮各地の韓材を以て之に充つ而して鴨綠江材は其稱類紅松、落葉松、杉松等を重なるものとし內地材は主として羽後熊代及び北海道各地より移入さるゝものにて其稱類は之れ亦松杉類を主とすと又た諸木材の最も多く入荷するは每年漢江の解氷期なるが之れを本年春の例に見るも當地方に於ける木材は其の需要先の大部分が官公署なるを以て近年官給材料としての木材絕ゐたる爲め其の各商店に於ける入荷額は前年に比し多少增加しをるも其の實際に於ける需要額は漸次減少の傾向なりといふ

●十一月中各地貿易額 十一月中半島各貿易地に於ける貿易狀況を記せば左の如し

港名	輸移出額	輸移入額
仁川	一四七、三二一圓	一、六四九、二二一圓
釜山	六一八、八六〇	一、三〇六、四六一
元山	七七、八二七	三四四、七二五
鎭南浦	二四八、四〇九	一五九、五三三
京城	一〇、三六六	八八六、二六四
群山	二三八、一六九	二二八、三三三
木浦	五八、九〇四	一八一、八九九
大邱	〇	二三六、七二四
馬山浦	二、三二九	九〇、〇八一
淸津	二、五四六	二一〇、五三四
城津	六三、〇六七	七三、四九七
新義州	八六、七九四	一一八、一九五
龍巖浦		
平壤	二四、九七〇	二八七、七〇三

●鮮人需用紡績糸減少 京城地方に於ける紡績糸は全部內地移入品にして其の需用は全部鮮人服地製織原料としてなるが九十及十二月の三ヶ月を以て最も其の移入の繁盛期とし攝津鐘ヶ淵、三重紡績會社の製品鮮人間に信用厚く就中鐘ヶ淵紡績會社の三角に友印のもの最も歡迎され其用糸稱は南鮮各地に於ては其の製織品の堅固なるを專らとするより十手振を好めど當地方は都會地に接近せるため奢侈の傾向ありて其服地も牢堅より寧ろ体裁美にして手薄なるを好むの結果其の移入糸は全部十六手振にて昨今二十把を一俵として四五百俵の移入あり然れど紡績糸の如き近年は價格比較的低廉にして体裁よき綿織服地の盛に移入せらるゝあり鮮人亦態々紡績糸を購ひて自家に製織するの徒勢なるを察するに至り漸次之れが移入額は金巾シーチング等鮮人服地の移入劇增に反比例して減少しつゝありと

●漢江流域航運計畫 內國通運會社にて漢江流域に於ける航運業開始の計畫あることは既報の如し而して右計畫に關する調査は十月下旬略ぼ完了し同時に試驗のため不敢取小規模の下に運輸を開始したるが豫定の如く成績良く從つて將來の有望なるは言ふ迄もなかるべしとのことなり而して右航行區間は龍山より忠淸北道の牧溪迄にて其の間數十の部落あり重もに鮮人相手の由なるが營業開始以來既に四十回の航行を爲したりと尙牧溪よりするものは諸貨物を運送すれども龍山よりするものは酒醬油等なりといふ尤も來春にいたらば更に綿密なる調査を遂げ大規模の下に營業に從事すべしとのことなり

●李王家森林拂下虛說 李王家所有水原の花山森林を仁川の力武外一名のものが十五萬圓にて買下げたりとの說に對し李王職蟾川事務官は打ち消して曰く花山森林は約一千四百町歩の大森林なるを以て此れが經營方法に就きては當職にても慎重審議を要することゝて過般水原勸業模範場長本田博士に依賴し同博士の手にて目下立案中にて讓渡し云々は問題となりしことなし然し去る十月森林保護の必要上障損木大小二千五百六本を價格一千九十圓にて拂下げたることあり或は此等の誤傳には非るべき乎云々

●山林課の今後事業 農商工部山林課に於ては目下前年來着手したる全道の林籍調查事業も既に一段落を了へ大同江漢江等の流域に於ける森林地帶の施業案も調查濟となり尙林野概況圖の刊行も今年中に印刷濟となるを以て今後は主として在來山林の整理及び諸請願に對する處分等に從事する筈なりと

●仁川港對淸貿易 仁川港に於ける十一月中の對淸貿易輸出入數量左の如し

(輸出の部)粉煙草三十七個、蟳干十個、茹材六個、朝鮮紙三個、白米九十五個、茶菰六十八個、海參一個、木材二十個、計二百四十個

(輸入の部)絹布百六十三個、洋金巾六百二十個、雜貨千五百四十六個、綿五百八十六個、落花生百八十六個、胡麻三百七十八個、麥粉百個、合計三千五百七十九個

然して之を昨年に比すれば輸出は大差なきも輸入は十月下旬以降漸次減退し十一月に入り殆んど例年の半額に減ず

●淸國動亂と國境の商勢 十二月五日朝鮮總督府調查に係る淸國動亂の國境に於ける商勢に及ぼせる影響如左

▲安東縣の商況 安東縣に於ける淸商の警戒猶依然舊日の如く只當用口の仕入をなすに止まる狀態なること前報の如し此の結果輸入品に在りては(イ)上海芝罘方面より安東に輸入する淸商の取扱雜貨は一般に品薄の爲め市價概して一割方騰貴(ロ)綿織糸は一玉十錢安(ハ)小麥粉は安東相場にて一袋三四錢安(ニ)ポヌ燐寸は安東にては內地相場の追々下落を報じ尙先安見込なること結氷見越輸入品不捌にて利喰に堪へざるとの爲め投賣をなすものあり騷亂前に比し一箱六十錢方下落せり又た新義州にても商人は其の見越移入品不捌を喞ち居れども猶未だ安賣をなすに至らず持ち耐へ居れり(ホ)金巾及シーチングは日英米製品共中淸輸出の不振は滿洲への輸出に誘致したるも品捌良好ならざる爲め自然朝鮮に其の販路を求むるの結果安東より新義州への輸入額激增を來し値段各品何れも一反に付十錢乃至十三錢安なり(ヘ)其他は格別の變動を見ざるも安東にては內地人取扱の淸人向商品は商況凡て不振なり但し新義州側商況は特に時局の影響による不振を見ず

▲新義州の商況 (イ)米は主として內地人に消費せらるゝものなるが故に殆んど影響を見ず(ロ)大豆は輸出殆んど皆無なるも之れ未だ新物の出廻なきが爲め相場却て高唱なり(ハ)生牛の輸出減少は主として輸出原價騰貴の結果なるべし(ニ)牛皮の十一月に於て輸出減少するは每年の例なれども又た時局の爲め淸商が仕入を手控ることも其の一因たり(ホ)柞蠶繭は本月は氣迷ながら僅かに二十六七籠の輸出を見たるのみなるが先般義州柞蠶業共同組合に於て時局の爲め當分輸出を見合すべき旨申合せたり

●山縣政務總監快癒 微恙引籠中なりし山縣政務總監は全く快癒九日は官邸にて執務せりといふ

●外波少將送別會 既記の如く九日午後六時より京城ホテルに於て各部局長官警務部長以下銀行會社員並に官民七十餘名は外波少將の爲めに盛大なる送別會を開催すべし

●山縣總督府武官着任 新任總督府武官山縣少將は九日午後八時十分の列車にて着任すべし

●國分人事局長の歸任 歸鄉中なりし人事局長國分象太郞氏は九日朝南大門驛着歸任したり

●細井憲兵少佐の赴任 新任咸鏡北道警務部長細井少佐は昨八日午後の南行列車にて赴任せり

●齋藤山林課長出張 齋藤山林課長は十日林業事務視察の爲め忠淸北道管內へ出張すべし

●府廳と證明事務 京城府廳に於ける土地家屋賣買及び典當證明遲延の異相に就ては我社の既に報道せるところなるが其の後府廳及び商業會議所より總督府に對し係員增加の申請を爲したれば今のところにては右係員增加の實行を俟つことゝなり居るが开は多分豫算の關係上來年度より實行すべしとのことなり而して府廳にては其の間に於ても事務の停滯を防ぐため特に總督府に具申して此の程三名の臨時事務員を採用し專ら事務の敏捷を圖りつゝありといふ

●需用と在炭數 京城 京城に於ける石炭の出廻期は勿論冬季にして其他の時期に至りては日韓瓦斯會社發電所用として多少の需用あるのみ而して漸く嚴冬に向つたる昨今にては市內一日の總需要額一百五十噸內外に上り其の多くは諸官衙其他の暖室用に使用さるゝものなるが當地輸入石炭中暖爐用としては內地の大辻炭最も歡迎せられ撫順炭は器械諸工場用に適し又た彼の平壤無煙炭は粉炭なるだけ內地人には殆ど之れを使用するものなく其の大部分は支那人の料理用麵麭燒料及び燃料として用ひられ不壞卵形炭は昨今一ヶ月三百噸內外の入荷あれど其八九割は鮮人溫突用として需用せらるゝものにて內地人の需用者極めて少く最近發掘の安州炭に至りては其の品質褐炭にまで達し居らざる爲め日鮮人を通じて殆んど未だ之れが需用者を見ずと尙ほ京城目下の在炭額を記さんに大辻炭六七百噸撫順炭千噸平壤粉炭四百噸なりといふ

●蠣養殖の成績 京畿道廳が永宗島に養殖を試みつゝある蠣は五月播種の頃一個の体長九寸七分体量一匁餘なりしが十月に至り体長一寸五分体量二匁三分に成長したるが發育の順序甚だ迅速にして今後の好成績蓋し疑なきものゝ如し又江華島に養殖せしものは播種期九月なりしを以て未だ發育の成績を見ざるも之亦永宗島と同じく前途有望なりといふ

●郵遞所の廢止と改正 韓國時代の所謂郵遞所なるものは現今五個所あり所在地は江原道の平海咸北道の三川京畿道の揚川濟州島の大靜及び旌義なるが管理局にては右五個所の郵遞所を來年度に於て郵便取扱所に改め同時に一般の郵便事務を取扱ふべしといふ

●黃金町通路擴張經過 既報黃金町より光熙門にいたる通路擴張は永樂町より光熙門にいたる間は此の程殆んど全部土地家屋の買收を了し黃金町通りも土地家屋の所有者五十名の中二十五名は交涉濟みとなりたるが何れ年內には全部完了すべき豫定なりといふ

●總督府醫院耳鼻科長交任 總督府醫院にて從來耳鼻科長たりし日比野弘氏は陸軍に復歸し後任として陸軍三等軍醫正醫學士坂井淸氏着任す坂井氏は耳鼻咽喉科に付ては極めて造詣深き人なりといふ

●龍山の總督官邸修繕 名稱ばかりの龍山の總督官邸は外部に修繕を要すべき個所少からず營繕課にて昨今修理に着手しをれりと

●愛國婦人會の講演 愛國婦人會朝鮮本部職員有志は八日午後二時京城ホテルに北野元峯師を聘して修養講話會を開催したり

●仁川基督教青年會講演 仁川基督教青年會にては十日午後六時より講演會開催萬國基督教青年會幹事シエツシャー氏大連基督教青年會幹事ヒッバード氏の講演ある由

●奉化郡守と土地調查 慶尙北道奉化郡守南泌祐氏は土地調查の現下に於て要急の時勢たるを了得し該郡が特に缺陋の地たるの故を以て從事員の不便を感せしめざらんことを顧慮し豫め宿舍及物貨其他の準備をなし置きたしとて調査局及測量各班の編成並人員等を土地調査局に問合せ來れりと同局にては同郡の注意周到を喜び居れりと

●釜山大棧橋復舊期 漸く[illegible]して未だ一回の使用をなさざる中に陷落したる釜山稅關埠頭の新築大棧橋は其後頻りに復舊工事を急ぎつゝありし豫定の工事期限たる來年一月中にて竣工すべしと云ふ因に復舊工事豫算は七萬圓也

公人私人

▲川上多磨樹(營林廠技師)八日浦尾へ
▲荻谷籌夫(朝鮮新聞社長)同
▲朝倉倬次郞(漢鐵技師)八日天與樓へ
▲內田定槌(伯剌兒爾駐在公使)八日釜山行
▲國分象太郞(人事局長)八日歸任

▲京城手形交換高▼

十二月九日 金高 一二五、二三四、二一〇 枚數 五三七

▲治外法權▼

東電に因ると支那の官革兩軍は亦々三日間の休戰を約したとの事だ、其間に攝政王が退位をして袁がデクテトアになつた、サテ形勢がコウ變つて見ると官革兩軍間の話が、案外早く附かうよ▲例の日本銀行對鮮銀の借入金交涉は、別項記載の通り、今度だけはドウヤラ出來ソウに運んだらしい、併し政府にして事業公債を市場に賣放つか、又は鮮銀が、總督府より引受けた事業公債を擔保にして永遠無限に日銀より借入金の出來る途を開くに非ざれば、コレから後も正貨準備の問題と決濟資金不足の問題とは每年每年起らねばならぬ▲一時的の姑息彌縫はダメ、幾ら半島が帝國の領土となつても、稅關が嚴然として在る以上、經濟上に於ては、是れ別國の姿、ソコで移入超過の決濟資金と、鮮銀の正貨準備とに付ては、一時的の姑息彌縫でなく、イツも安心の出來るよう仕て置かねばならぬ▲東拓が日本興業銀行に向かつて三百五十萬圓の借款を申込んだとは異乎、然り異ならんか、其中百萬圓は例の農工債券引受、殘り二百五十萬圓は土地の買占資金▲サテ東拓の遣口は、今に至るも、ドウも感服が出來ぬ、借金で債券を引受けて利鞘を取る、借金で土地を買占めて小作料をせしめる、扨コンナ事をイツ迄繰返したとてウダツは揚らぬ、宇佐川のドーさん、ではない、若い重役達は會社が有つて居る一億圓の募債權を活用して、何か氣の利いた仕事をする樣にしてはドウか▲日韓瓦斯電氣が電燈料の値下をしてから、申込が劇增したのは薄利多賣主義の勝利だ、岡崎や岡も之れで良い年がトレよう▲雜誌朝鮮が朝鮮及び滿洲と改題するソウだが、記者は衷心同誌の發展を祈る。

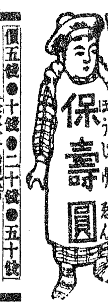
雜録

●癌腫とＸ光線

△室谷總督府外科部長談

近來ラヂウム光線ウラニーム光線又はエッキス光線等種々なる光線が醫學上に應用せらるゝことになりしが比較的疾病に向いて多く應用せらるゝものはエッキス光線であるエッキス光線は其發見當時即十七八年前には單に骨の疾患を知り乃至は針又は彈丸等の異物が身体内に迷入せし時に之を發見するに過ぎざりしが近年に至り之を診斷上並治療上に弘く應用せらるゝに至り爲に其範圍が著しく増加して來た已に數年前内科に於ては白血病に試み著効を奏した報告がありしが其後外科的疾病慢性皮膚病乃至は婦人科病にも盛に應用せられ卓越なる効果を奏せし報告が著しく増加した之れ誠に患者に對する一大福音と云はねばならぬさてエッキス光線が外科に於て如何なる疾病に有効なるかと云ふことは茲に一々之れを列記する繁を省き特筆すべきことは他の療法にては治療に困難なる病症若くは治療の見込なきものに試用して大に良効を奏することである即ち手術を施し得ざるもの殊に淺在性に蔓延せる癌腫若くは肉腫等の惡性腫瘍に本光線を應用する時は爲に腫瘍細胞を破壊し其組織を漸次萎縮せしめ潰瘍面は上皮を形成し臘樣汚點ある分泌物を減少し疼痛も亦著しく消散することである此著大なる効力を證明せられし以來幾多の學者も亦之を確認し盛に其應用に努めつゝある次第である最近チメノー氏が種々なる難病にエッキス光線療法を應用して次の報告を發表せられた夫れは合計七十九名の患者に試みし成績に依ると全治せしもの三十名著しく輕快せしもの十五名僅かに輕快せしもの十二名少しも輕快せざりしもの二十二名なりしとのことである我總督府醫院に於ても先般エッキス光線裝置が完成せし以來外科的疾患は申すに及ばす内科皮膚科並婦人科病等にも時々應用せられつゝあり自分も本光線に就ては多大の趣味を以て研究に從事中偶々鎮南浦より舌癌患者が來院した診ると舌は右半側の後方と扁桃腺の一部にも犯され加之疼痛に著く増加し居りしに依り到底手術不可能なりとの事を告げたが徒に拱手傍觀することが出來ぬから直ちにエッキス光線療法を實施した然るに其結果は良好に趣き今迄腫瘍が絶へず流れ出し時に出血せしものが大に減じ且止血し同時に局部の浸潤が全く消散せしのみならず癌腫は大部上皮を以て蔽はれ來た三ケ月餘りも牛乳のみしか通らず殊に入院當時に於ては牛乳の嚥下出來ず漸くアイスクリームを食し得るに止まり漸次衰弱の度を増加しつゝありしものが僅かに一ケ月餘にして粥食や鯛の切身を食する樣になり開口も廣く出來又言葉も餘程明亮となり患者は大に輕快を覺へたるに依り再び鎮南浦へ皈る事となりたり之れは一例に過ぎないが驚くべき輕快を來した事は全くエッキス光線の賜に外ならずして患者並附添人にも大滿足を與ふる事が出來た次第である以上手術不可能なりし惡性腫瘍が此エッキス光線に降服しかけた情態は實に學問上興味ある事である幸に世の難病に苦しみつゝある人は是非一度はエッキス光線の治療を受けらるゝ事がよからうと思ふ云々







●盛なる長唄嗜好會　舞踊狹衣

故伊藤公の統監時代、と申すと舊棒に古臭く聞ゆるがツイ一昨年の明治四十二年の秋、當地に於ける紳士や令夫人等の同好者が相圖つて作た長唄嗜好會が長唄の趣味の普及と云ふ大層な事に少くも統監の臨出の裏は定まりの淺黄木綿切つて落した實際は折角習ひ覺へた長唄の邪魔だつて逃げれば生へれば虫も附く、勿體ない事く、故を温ねて新しきを知る、變遷やら法界節ヤ、ホーカイ節ヤチ否乎の居ては、ト寺へ行ンヤつから旦那方に盡かれ情をいれもつて是非〳〵と云ふが大目的の今更め上してかし吹聽も實に故を温ねて新しきを知る業こそと思召せや。

●東京から聘んだ芳村家元伊三郎師

人氣は立つ會員は殖ゆる乘氣になる、毎月例會を開く會場の巴城館の大廣間に溢るゝ會員に伊藤會長の

●兩統監の親く臨場

せられたのが其當時の評判で芳村伊三郎師が……

●元老芳村伊壽惠

●菊家文之助、花月勝利

等に依つて……

神は維持せられ來つて今日に及んでたのだ、廢するものは仲ぶさか、廢絕せんがために中止したのでない長唄嗜好會が如何に激しい取沙汰の杜絕ゐた今日此の頃嗜好者の寂寞を察し炎を勃發するに至つたのは當然である、人は上下や鎗薙刀に當てゝ取り居れるものでない、一枚の紫珀甲で一枚の表装が無くつちや堪らぬ、と云つた人があるが全くだつて事さ、フントウだよ、維時四十四年十二月八日午後六時より壽座に於て長唄嗜好會第十四度の納會を催す傍ら元老芳村伊壽惠氏の所作舞踊に用に候へば何卒御來聽をとの記事が新聞紙に揭げられ菊屋文之助、花月勝利様は武者傑ひを禁じ決して連者の所爲では御座らぬ、聽衆無慮一千に達し午後七時既に木戸を閉ぢた、塲内は武者傑ひの運中であつた（つゞく）

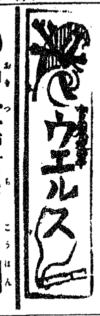
●腸チブスは癒らぬか　森安博士談

腸チブスに罹つた人は大抵死ぬもので、あらうか、醫學上の智識を有たぬ多くの人々は直に恐慌して了ふ樣に思はれるが、治療術の進歩した今日其樣に思はれる程死ぬものでは無いから然し朝鮮の容易に死ぬものでは無い然し朝鮮の內地に比して著しく多くこれを取扱ふ先生方の意見を聽いて見た

總督府醫院　森安博士談

腸チブスも流行時によつて腸出血を起し或は直ちに精神に來たり呼吸器を犯す等症狀は種々あるが最初に醫師が注意しなければ左程危險な病氣では無い處が腸チブスと確認されず感冒に罹つた如く思ひ時々熱發する此の鬱陶しい場合に患者の身体を動搖させることは極めて危險である幸ひ治癒つても長びくものである若しも症狀の不分明な際は醫師の鑑定として專門醫に患者を委ね宜く無暗に解熱劑を與へたりして重態に陷らしめてはならぬ隨分ある注意すべき事である左樣な事を起すことなく正しく腸チブスと確認されたる場合には第一週に於て熱が高くなり第二週には熱が稽留して居り第三週には間歇熱となり第四週には熱が不溫になるのが順當なる經過であれば決して恐るべきもので無い然るに初めの注意は患者を不正經に陷らしめて死を速かならしむる併

發症は腦炎肋膜炎チブス性腦膜炎又は脚氣病者にチブスの併發することがある、之は脚氣によつて身体に弱點を生じ之れをチブス菌が犯し易いからである、脚氣の際は豫後不良にて全治するも延くを免れない時として穿孔性腹膜炎を併發する場合には危險に陷るものである、兎に角心臟の虛弱なる人肥滿者脂肪分の多き人等は死亡率の大部を占むることが多い（つゞく）



●沖津戸十郎等の公判

▽仁川支部法廷に於て

仁川水產株式會社專務取締役沖津戸十郎同會計役芹川俊藏に對する橫領事件の公判は既報の如く七日午前十時半より京城地方裁判所仁川支部法廷大谷裁判長眷川陪席判事藤堂陪席判事早川書記並に志水檢事立會の下に開廷せらる被告辯護人として皆川廣濟、大﨑熊之丞、石塚辭式の三氏出廷、型の如き訊問ありしが沖津は飽くまで知らぬの一點張りに押通したるに引替ね芹川は答辯に曖昧なるより判事に詰責せられ慄ひ戰きたり斯くして被告の訊問終るや大﨑辯護士より該犯罪の要旨たる二千六百九十七圓五錢八厘橫領費消せりとは如何なる帳簿の計算により成算せしか本件の被告芹川に對し證人として益田五六、十八銀行仁川支店員原庄次郎等の召喚を申請し大﨑辯護士よりは水產會社監查役村谷吉藏、竹田津三平並に守永安三郎等の證人召喚を申請したり時に午後一時裁判長は少憩を宣し同二時續行辯護人の申請にかゝる證人として原庄次郎の召喚は承認せられたるも其他は總て却下となる間もなく原庄次郎は證人として裁判長の取調を受けたり要は本年八月十五日京義線小幡豐吉より振出仁川水產會社宛十八銀行支店支拂の百圓小切手を被告芹川が紛失したる爲め金圓を受取らぬと云ひ居るなり證人原は該小切手は之れなりと懷中より取出し裁判長に渡しければ裁判長は檢證の後被告芹川に貴樣は其の小切手を紛失したと云ひながら確かに銀行より受取つて居るではないか明かに貴樣の名義の下に捺印し有るではないか克く之れを見ろと目の前に突つけられ被告は此の印は常に机の抽斗に入れ置きたれば何人かの所爲ならんと逃げを張る裁判長は前記大﨑辯護士の公判延期の申請を容れ來る十八日開廷と決し同三時閉廷せり

●請負業者の恐喝

▽外妾の元の情夫を

元來青二才の三木は黑川の爲めに暴行脅迫を受けしに包み切れず實は先刻春樓の下手に於て愛子に出會せしに愛子は今度歸省すると云ひし故お芽出度うと云ひしのみにて他に何事も話さずと答へしに黑川は之を聞くや他人の女房に對し呼捨てにするとは不都合なりとて暴力を揮つて三木の左耳を聽覺不能に陷らしめたるのみか更らに鐵製の火箸を逆手に持ち此を振上げたるも先刻より傍觀し居たる大和新地福島樓主取押へたり此より前三木は如何にもして逃げ去らんと企てしも建具の工合にて其意を達し得ざりしなり然るに黑川は間もなく荒繩を持ち出で三木及愛子を縛せんとするより三木は只管に謝罪し逃走せずと誓ひしも聽入れざるに福島樓主に仲裁を求めしに三十分間の猶豫を與ふる故顏を立てろと云ひ三木は翌晚迄の延期を求めしも三時間以上は不可なりと云ひ福島樓主は黑川より三木の身柄を三時間預る事とし事件解決せねば再び黑川に引渡すことにし福島樓主及黑川の妻同道福島樓に至りしに樓主は愛子を三百圓にて讓り受けよとの事に五十圓は所持し居るも三百圓は出來ずと押問答の末二百圓となりしも調金出來ず結局謝罪狀を差入れて解決せしが關係者一同福島樓にて和解の宴を開きし料理代金二十九圓餘を三木に負擔せしめたる一將南部署長野、岸、佐藤の三刑事探知する所となり拘留取調中なりと（完）

社告

鳥兎匆々歲極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就て本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に揭載すべき各位の

玉稿の御寄贈

に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌踊歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畵の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畵にして其高尚優美なるは贅言を要せずと確信候

十二月　京城新報社

●歲暮の贈答品（五）

……各商店主の談……

▲三巴酒店▲　金釜四合瓶一打箱入六圓五十錢同五合瓶半打箱入四圓三十三錢同一升瓶三本箱入四圓三十錢が多く出ます其他は金釜半樽十七圓銀釜半樽十四圓といふのもボツ〳〵進物用として賣れます

▲露西亞物產商會▲　カムサツカ產の燻製鮭二疋箱入れが一圓四十錢キャビヤ（筋子）の瓶入一本七十錢石鹼一打九十錢ソレに俗に沙更紗と云ふ實はモスクワ產の品が一反二圓二三十錢の處が何れも珍らしいのと体裁の宜しいので盛んに出ます外に新嘉坡產のレモン十個入一箱七十五錢から一圓之れも上品な御進物です

▲江川菓子店▲　弊店の特製として自慢の物もありませんが何れも箱入カステーラ一圓から二圓五十錢栗饅頭五十錢以上二圓煉羊羹同じく五十錢以上二圓前後が御進物として續々御註文があります

▲貞島寒水堂▲　栗羊羹が一圓以上カステーラ一圓三十錢以上生菓子五十錢以上といつたもので外には矢張西洋菓子です此の二十五日頃から勅題に因んだ菓子を賣り出す考へです

▲青々園▲　御進物としての茶は玉露二圓以上六圓位のが出ます茶器は勅題模樣の淸水燒一圓以上二圓五十錢ソレに平素は餘り賣れませんが薄茶道具一式箱入二圓五十錢から六七圓のが隨分賣れます一兩日中淺草海苔が來ます五帖九十錢十帖一圓七十錢です外に紅茶はセイロンと南濟ツレに宇治製のを日本人の趣好に適する樣に混入したのがあります

●朝鮮總督の勝訴

▽土地所有權確認問題

公州地方裁判所管內在鮮人安重基なる者は朝鮮總督を相手取り土地所有權確認請求の訴訟を提起せしより總督府にては辯護士中村時章氏を訴訟代理人として爭訴中の處第一審に於て原告敗訴し不服にて控訴し目下京城控訴院に於て審理中の處九日同訴棄却の判決ありき

●黑川初次郎の檢事局送

▽一件記錄と共に

別項記載の請負業者黑川初次郎の恐喝取財事件は南部警察署に於て取調中の處愈々終決し一件記錄と共に身柄は檢事局に送らる

●姙娠囚の停刑

▽腹の兒が生れる迄

東部蓮花坊蓮池洞四十五統六戶金召女は去る八月二十九日京城區裁判所に於て姦通罪に因り懲役六月に處せられ京城監獄に於て受刑中の處姙娠九ヶ月にて服役困難なれば分娩後三十日間經過後迄停刑を京城區裁判所檢事より許可の決定を受けたりと

●麥粉八百包に浸水

仁川本町慶田組所有開平倉船は七日午後九時頃仁川停車場裏手の棧橋に衝突し船底を破碎し麥粉八百包に浸水し損害千六百圓餘なりと

●鮮人人夫の溺死

七日午後六時仁川永信組人夫原籍黃海道信川生趙鳳國（十九）は停泊船に荷物積込中誤つて溺死す

●敷島女郎の無斷外出

仁川敷島遊廓第一朝日樓抱娼妓貞奴事田中ゆか妻子事木下はつ小春事渡井まき三勝事黑川きよの四名は七日午前十一時半頃無斷外出して本町三丁目光田百太郎方に遊び居たる爲め科料一圓宛に處せらる

●龍山の小火

八日午後八時二十分西大門分署管內青坡二十六番戶瀧澤信孝（稅關屬）の居宅より發火四疊半一室を燒失鎭火せり原因は不明なり

日曜集會

▲京城基督敎會（南大門內相生町）午前十時より『靈活の敎會』と題する松本雅太郎氏の說敎あり

▲京城日本基督敎會（旭町四）午前十時井口牧師の『必成の途』夜七時卅分より題未定丹羽清次郎氏の傳道說敎あり

▲日本メソヂスト敎會（旭町二）午前十時半より藤岡牧師の『同情の淚』夜七時同氏の傳道說敎あり何れも來聽隨意

▲修養講話　若草町曹洞宗別院に於て十日午前十時より北野元峯師の修養講話あり參聽隨意

●演藝だより

▲歌舞伎座▲　中村歌玉一行十日の代狂言は『岩見重太郎』の通しにして翌十一日の出し物は『石井常右衞門』なりと何れも得意の出し物なれば見堪あるべし

▲壽座▲　既報の如く九、十の兩日は諸藝大寄せにして開場は正五時木戸入も勝手なりと云へは定めし盛會なるべし

▲浪花館▲　十日は久保田青木堂の飛入ありと若遊三一行の落語、手踊り

たんをきりせきをしづめぜんそくを根治す

龍角散

登錄商標

氣管激變の爲め引風よりたんせきを起す人多し輕症なりとて放任すれば肺炎、肋膜炎等に變症し終に重症となるものなれば輕易のうちに治療こそ肝要であります

龍角散は服用後、暫時にしてたんは能く切れるせきは奇妙に止るいき切は輕まる其他飲食困難したる慢性症も怠らず服用すれば氣分は何となく爽快となり病惱は日々に輕減し終に根治す此れ全く本劑が他藥に卓越する特色であります

龍角散が如斯く痰せき喘息に偉大なる効顯あるは偏に某醫官が多年刻苦御經驗の賜ものなれば、あの藥この藥と御迷なく一日も早く本劑を服用ありて其病苦を根治し給へ

主治効能

●たんにて常にゴホンゴホンと惱むによろし
●ぜいろくにてゼイゼイいき切するによろし
●夜中せき頻に出でヲチヲチ眠り兼るによろし
●流行感冒より起るたんせきによろし
●肺病にて常に力なきせき出るによろし
●たん臭氣を帶び時々血の交るによろし
●小兒百日せき又はしかせきによろし
●聲のかれ咽喉の痛み鐵(?)呼吸器疾患のたんせきはいかなる惡性も

一二週間續いて服用すれば其効力、速かに顯はる

	定價	郵送料
二日分	金十錢	二錢
四日半分	金二十錢	二錢
一週間分	金三十錢	二錢
二週間分	金五十錢	二錢
一ヶ月分	金一圓	四錢

取次…全國各藥店にあり

本舗 東京市神田區豐島町 藤井得三郎

特約店 京城南大門通三丁目 新井藥房 振替東京九一番

歳末年始贈答品



には頭に上らぬ一日醉のせぬ清酒の本場灘御影町 嘉納合名會社醸造

白鶴印壜詰（防腐劑なし）

壹打函乎打函切手及樽詰等を御進め致し升

特約店 京城本町

前田酒店 電話一三七番

田中支店 電話七六四番

脳病新藥 健腦丸



島村醫學博士有効御證明

略効 ●腦充血●頭痛●神經衰弱 ●腦貧血●逆上●精神鬱憂 ●神經痛●耳鳴●大便秘結 ●腦膜炎●中風●卒中 神經系統諸症に多大の効あり

價 五週分貳圓 二週分八十五錢 一週分四十五錢 三日分貳十錢

本舗 大阪心齋橋筋二丁目 東京日本橋區通旅籠町 丹平商會藥房

轉ばぬ先の杖＝病まぬ前の養生

是れに過ぎたる賢良の策なし

醇良佳味醫學上最善の滋養衛生劑

蜂印香竄葡萄酒は



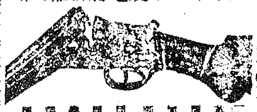
金銀最高賞牌廿四個を有し進歩的智識ある上流社會は爭ふて愛用せらる

朝夕之れを飲用せば體力元氣旺盛となり仕事は愉快に家庭は幸福！

要は唯だ速時實行せらるゝに在り

賣捌元 東京日本橋區本町三丁目 近藤利兵衛

((東京日本銃砲店新輸入))



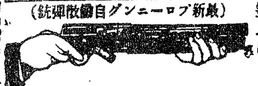
●祝 本店期新輸入の獵銃は關税改正さ狩獵税低減 特別一割引乃至二割引の大廉價販賣

（自八番至四〇番）



（八番より四十番迄）

（最新ブローニング自働散彈銃）



（十二番十六番 價百五十圓）

米國ウインチスター自働六連實彈銃七十圓

レミントン自働六連猛獸實彈銃百圓

英最上黑色火藥アペライト無煙新藥

（獵用ガイゼル帽及新式獵具類全備）



（護身用新形拳銃價四圓より種々 式自動拳銃價三十圓より種々）

東京日本橋區通三丁目 日本銃砲店

は叮嚀懇切を旨とし良品を廉價に販賣す（遠國注文代金引換小包便販賣 無料送金は振替郵便二三三番）

（營業案内上下二冊無料郵呈 獵友雜誌毎月發行見本二十錢）

保熱廿餘時間魔法瓶價三圓八十錢以上

腹痛と下痢

腸の患ひ一切には

醫學博士柏村先生の創製に係る醫界理想の腸胃藥ヘルプを用ひよ



効能 ●痢病●腸加答兒●食傷●腹痛●吐瀉●腸の疝●水あたり●寢冷●飲あたり 腹等一切の下痢を止め腸胃を整ひ惡疫を豫防す

定價 拾錢 廿錢 五十錢 一圓

本舗 東京今川橋 津村敬天堂

取次各藥店にあり



代理店 京城南大門通二丁目 新井藥房

電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

各種上等石炭

△日本産石炭名▽

金田… 高島… 唐津… 卵形… 煉炭… 無煙…

…谷炭 …炭 …江炭 △平壤産無煙炭名▽ 平壤無煙炭 形無煙炭 瓦形煉炭 無煙粉炭

石炭直輸入商

西崎商店

京城西小門通四十七番 電話七二七番

歳暮御贈答品

小桶詰いろく

營業課目

白瓜奈良漬	西瓜奈良漬	守口奈良漬	胡子奈良漬	瓜粕漬	大根漬	鮭粕漬	筋子糀漬	いか糀漬	鮭根漬	大糀漬	山葵漬
東京澤庵漬	地澤庵漬	蕪千枚漬	味噌漬	辛子漬	生姜漬	梅干漬	花山葵漬	金寺味噌	白味噌	鐵火味噌	麥味噌
鯣佃煮	蛤佃煮	蛇佃煮	あさり佃煮	海苔佃煮	蝦佃煮	あみ鹽辛	いか鹽辛	鮎鹽辛	うに鹽辛	八丁味噌	櫻味噌

●其他鑵詰瓶詰各種酒粕製醸進物用小桶曲物色々

諸漬物御專業

▲地方より御注文は之際爲替附を以て早速御送附可仕候也

京城南大門通り二丁目 ㊇嶋屋

電話九〇三番 振替口座京城五七番

三大要點

安心の出來る清酒

金露酒は大阪衛生試驗所檢査證明封緘付朝鮮總督府飲料酒試驗合格品衛生上安心也

金露酒は價格低廉容量豐富經濟向大安心也

金露酒は品質芳醇佳香の優良品嗜好上安心也

壹舛瓶詰に壹本付 代金七拾五錢



醸造發賣元 京城明治町一丁目 大塚京城支店 長電話四百一番 振替貯金京城五七〇番

改良 特製 珍品

●右原産地より多數輸入廉價に販賣仕候間多少に不拘御用命の程奉希上候

鮭の筋子

新荒卷鮭、鱒、紅鮭、數の子

食料品卸賣 海産物貿易商

京城南大門内米倉町市場 ㊆池尻林太郎

長電話三五一番 振替口座京城八六番

政宗 正則 正濟 醸造元

酒 小賣壹舛に付三十五錢

清酒 味淋 燒酎 醸造元 並に日用食料品販賣類

卸賣は特別割引可仕候

京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番

電話にて御注文の際は一舛以上は店員をして速達致させ候

電話開通 二、〇九二番

京城本町六丁目 **増戸銃砲店**

紀州みかん

食料品薄利多賣

▲隔日着荷 多數御注文に可應候

京城南大門通朝鮮銀行前角 川西商店

電話一三六七番 振替京城一番

日本蓄音器商會 朝鮮總代理店

日本 朝鮮 音譜 蓄音 各種品揃

音譜目録無代進呈

地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候



歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商

京城本町 辻屋

電話二四八番 振替口座八七番

大聲發音器

指環 眼鏡 金銀盃 時計鎖及び附屬品 金銀小間物及卸類 貴婦人用貴金屬製品一切

貴金屬美術品製作所 京城明治町壹丁目 吉川金光堂 電話一五二一番

▲弊店の特色 ▲寶石入貴金屬製品 ▲其他金銀細工調製

親切を旨とし確實に御調製可申候

◎襖材料卸賣並ニ襖製造

◎仕入レ建具類及ビ附屬品各種

◎簞笥類各種

建具製造販賣

建具製造 襖材料卸 商

京城南大門外御成町 ㊅三好市太郎

電話五九六番 振替口座京城二九七番

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達

京城本町三丁目

大坂野村徳七代理店

田中友吉商店 電話九九三 發電略（タ）